

徳島県におけるSDGsの推進について

徳島県環境首都課長 熊尾 雅彦

SDGsに掲げる17のゴール

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

Sustainable Development
Goals(持続可能な開発目標)
2015年の国連サミットで決まった
世界共通の目標のこと。



徳島県における取組（各種行政計画・施策）

①計画における位置づけ

「未知への挑戦」とくしま行動計画(2019)

生物多様性とくしま戦略(2018)

第三次環境基本計画(2019)

とくしま人口ビジョン
vs東京「とくしま回帰」総合戦略(2020)

「未知への挑戦」とくしま行動計画はSDGsの推進における最重要計画

SDGsの概念や要素を最大限にし、具体的施策とSDGsの関係を見える化し、取組を推進するよう検討

総合戦略の施策はSDGsの要素を反映と位置づけ、挙県一致であらゆる施策を推進

②官民連携・地域連携

地方創生SDGs官民連携プラットフォームへの参画(2018)→先駆的取組や共通課題の情報共有

SDGs全国フォーラム2019(神奈川県)への参加→93自治体の参加とSDGs日本モデル宣言の採択

③施策アプローチ

全国をリードする働き方改革の展開

新次元の消費者行政・教育の展開

自然エネルギー立県とくしま推進戦略・
水素グリッド構想の推進

地域包括ケアシステムの構築

サテライトオフィス、デュアルスクール、モバイルワーク

G20,消費者庁消費者行政・新未来創造オフィス開設など

全国に先駆けた気候変動対策推進条例制定による
「緩和策」と「適応策」の推進

地域の暮らし「ほっとかない」事業、県版「介護助手」制度

④情報発信・人材育成・支援

県内の優れた取組の発信強化

SDGsに通ずる自治体職員の育成

市町村の支援(主に上勝町)

キーパーソンを活用したSDGsツーリズム、動画制作

SDGs研修、地域課題解決講座

SDGs推進委員会ほか各種会議への職員派遣

本県の先進事例

上勝町の取組事例 (SDGs未来都市メニュー)



町内の多様な植物を
最大限に活用した
つまものづくりを行う
(株)いろどりの取組



45種にまたがる分別と
再資源化を徹底する
NPO法人ゼロウェイスト
アカデミーの取組



学術上の知見を基に、
高丸山の自然再生緑化を
行う(一社)かみかつ里山
倶楽部の取組

神山町の取組事例 (ファイバータウンメニュー)



BCPや生産性向上の
観点から、オフィス機能を
移すサテライトオフィスの誘致
(えんがわオフィスなど)



神山町創生戦略の
具現化を図るための、
集合住宅の建設や
フードハブプロジェクト実施



地方創生のための
基礎的な知識や手法を
地域で考えていくための
メソッド提供(神山塾など)

徳島県のコウノトリの取り組みについて

コウノトリを取り巻く現状

- コウノトリの生息は、里地における良好な生態系の存在を意味するのみならず、生物多様性保全のシンボルとなるものであり、「地域活性化」や「経済振興」等への展開も期待される。
- 徳島県では、地域の農業団体や大学、野鳥研究団体、行政などと連携して、2015年に「コウノトリ定着推進連絡協議会」を設立し、コウノトリの「生態調査」や「営巣・餌場の確保」、「マナー対策」等を行うとともに、農村としての価値を高めることで地域の活性化につなげる取組を行ってきた。

徳島県

人工巣塔の設置

営巣場所確保のため、
2カ所の人工巣塔
を設置



県×協議会

足環装着プロジェクトチーム

ヒナに、個体識別、生態調査のための
足環を装着



コウノトリ協議会

休耕田のビオトープ化

NPO法人とくしまコウノトリ基金が
中心となり、
餌場を確保

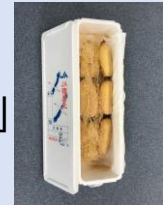


農家

コウノトリおもてなしブランド栽培

農薬・化学肥料を半減して栽培

鳴門市の認証を受けた
「コウノトリおもてなしれんこん」



協議会×農家

ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト & コウノトリ・エコ・ポタリングツアー

農薬、化学肥料を半減させた水田で
醸造用の米を栽培

自転車を利用し、コウノトリの観察や
酒蔵・窯元等を巡るツアーを開催



SDGsの計画的な推進

香川県環境森林部環境政策課
課長 久保 幸司

香川県次期総合計画

骨子案等の概要

次期総合計画の性格と役割

- ◆ 令和3年度からの新たな香川づくりの指針
- ◆ 本県の進むべき基本的方向と
それを実現するための方策を明らかにした
県政運営の基本指針
- ◆ 計画期間：令和3年度～令和7年度

策定に当たっての考え方

せとうち田園都市香川創造プラン

(平成23～27年度)

「せとうち田園都市の創造」

- 元気の出る香川
- 安心できる香川
- 夢と希望あふれる香川づくり

新・せとうち田園都市創造計画

(平成28～令和2年度)

「せとうち田園都市の新たな創造」

- 成長する香川
- 信頼・安心の香川
- 笑顔で暮らせる香川づくり

次期総合計画

(令和3～7年度)

- これまでの取組みの方向性を引き継ぎながら、社会経済情勢の変化や県民意識・ニーズ等を踏まえて策定

基本目標

「せとうち田園都市の確かな創造」

活気あふれる街と美しい自然が隣接し、生涯を通じて安心して生活できる環境の中で、誰もが生きがいを見いだし、みずからの能力を存分に発揮できる、また、その魅力に引かれて集い、交わる人々が、みんなですべて新しい流れをつくり、人口の社会増がもたらされる、瀬戸内(せとうち)香川の生活圏域の確かな創造

基本方針

(1) 安全と安心を築く香川

災害や感染症など、命や健康を脅かす危機が頻発する中で、これらの危機への備えを万全なものとし、子どもからお年寄りまですべての人が、安心して健やかな日々を過ごすことができる香川をつくる。

(2) 新しい流れをつくる香川

新型コロナウイルスによる県内経済への影響から回復に転じさせるとともに、新たな発想を持った人材と新たな技術の積極的な活用により、本県ならではの魅力や強みをさらに磨き上げ、産業、観光、しごと、暮らしのあらゆる面で選ばれる、活力に満ちあふれた香川をつくる。

(3) 誰もが輝く香川

すべての人が夢と希望を持って、家庭、職場、学校、地域のそれぞれが置かれた環境で、ライフスタイルやライフステージに応じて、その能力を発揮し、お互いを認め合いながら、笑顔でいきいきと暮らせる香川をつくる。

推進の視点

効果的・効率的に行政運営を行うため、次の視点を持ちながら実効性のある取組みを推進

①県民等との協働	②広域連携	③デジタル化の推進
県民、地域団体、NPO、企業、大学、金融機関など多様な主体との協働の仕組みづくりに努める	限られた財源で住民サービスを持続的かつ安定的に提供するため、各市町や四国4県など自治体間の広域連携を推進	デジタル人材の育成や利活用の促進、行政サービスのデジタル化・オンライン化など、あらゆる業態のデジタルトランスフォーメーションを促進
④行財政改革の推進	⑤SDGsの推進	⑥関係人口の創出・拡大
社会情勢の変化に「柔軟」かつ「迅速」に対応しながら、これまでの「量」の改革を維持しつつ、「質」をより一層向上させる改革を推進	経済、社会及び環境の三側面を調和させ、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざす	さまざまな分野において、特定の地域に関心を持つ地域外の人材と地域の多様な関係の構築を図る

環境に関する計画の 骨子案の概要

次期環境基本計画(R3～R7)

基本的な考え方

- 本県独自の環境を守り育てるため、行政と県民をはじめ地域等が一体となって取り組む地域づくりに重点的に取り組み、各分野の施策の一層の推進を図る。
- 環境基本計画に掲げる施策を実施することで、本県の環境課題の解決を図るとともに、**SDGsの目標達成にも貢献していく。**
- 新型コロナウイルス感染拡大による環境への影響を考慮したうえで、将来的に環境と成長の好循環が実現する社会を目指していく。

次期みどりの基本計画(R3～R7)

施策展開の基本方向

- この計画に掲げる施策を実施することにより、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を通じて地球温暖化の防止やSDGsの目標達成にも貢献していくものである。
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮したうえで、感染症のリスクを低減した社会経済活動の促進を図る。

次期地球温暖化対策推進計画(R3～R7)

基本的な考え方

- 脱炭素社会の実現に向けて、「2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする」ことを目指していく中で、令和7(2025)年度の削減目標達成に向けた具体的な取り組みをとりまとめる。
- 温室効果ガスの排出量を抑制する「緩和」とともに、現在及び将来に生じる気候変動による被害を回避・軽減する「適応」に取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図るとともに、**SDGsの目標達成にも貢献していく。**
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動を両立しながら、地球環境の保全を同時に実現していく。

次期廃棄物処理計画(R3～R7)

基本的な考え方

- 環境への負荷をできる限り低減するため、引き続き、2R(発生抑制(リデュース)、再使用(リユース))にリサイクルを加えた3Rを促進するとともに、廃棄物の適正処理を推進する。
- とくに、新たな課題となっているプラスチックごみ対策や食品ロスの削減、災害廃棄物処理体制の充実・強化に重点的に取り組む。
- 廃棄物処理計画に掲げる施策を実施することで、持続可能な循環型社会の形成を目指すとともに、**SDGsの目標達成にも貢献していく。**
- 新型コロナウイルス感染拡大による廃棄物の種類や排出量への影響を適切に把握し、柔軟に対応する。

SDGsに関する取組紹介

かがわ未来へつなぐ環境学習会

- 環境保全団体や県等が行っている「学びの場」を幅広く紹介するとともに、活動内容の一部を体験していただくことで、環境保全活動への参加を推進するもの
毎年、8月頃に小学生親子を主な対象に実施し、約3,000人来場
- 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでのように大勢で集まって体験をしていただくことができない。
- そこで、環境保全団体の御協力のもと、環境への理解を深めるきっかけづくりとなる動画を制作。

小学生にも わかりやすいSDGs

かがわ未来へつなぐ環境学習会⑫



かがわ未来へつなぐ環境学習会⑫ ～小学生にもわかりやすいSDGs～

- <https://www.youtube.com/embed/Qll-AOpy9Us>

香川インターネット放送局 SDGs

検索

A photograph of a sunset over a beach. The sun is low on the horizon, casting a bright orange glow across the sky and reflecting on the water. A large, dark island is visible on the right side of the horizon. The foreground is a dark, sandy beach.

御清聴ありがとうございました
(父母ヶ浜の夕日)

地方創生SDGs

～松山市の取組～



令和3年1月28日(木)

松山市 総合政策部 企画戦略課

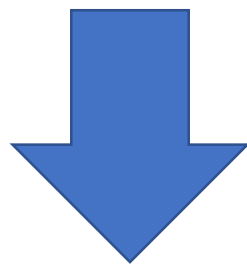
松山市がSDGsに取り組み始めた背景 ～地方創生とは～



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



地方創生 = 人口の東京一極集中を改善し、
地方の人口減少に歯止めをかけよう！



そのためには…

**地方に
まち・ひと・しごとをつくろう！！**

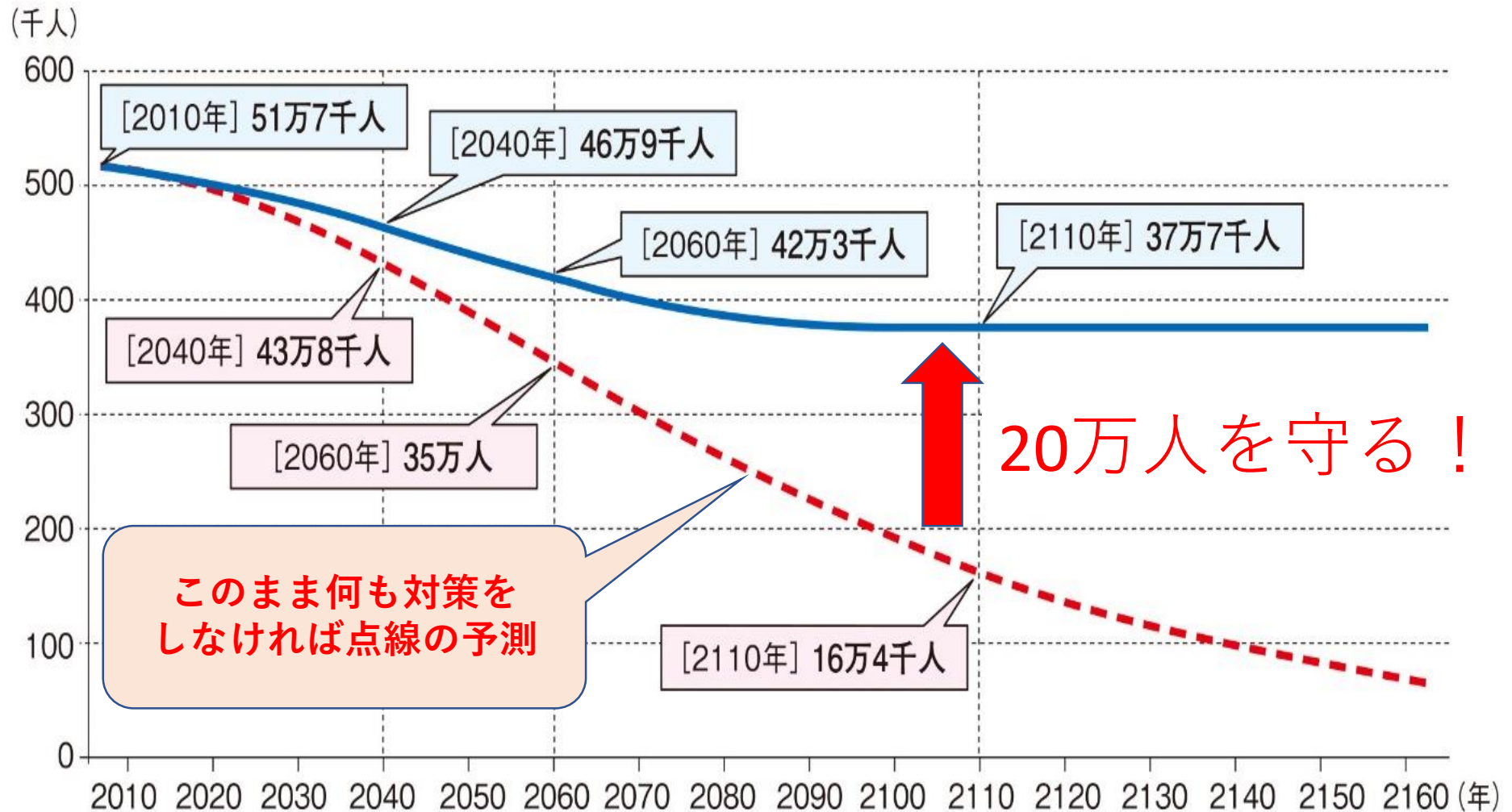
松山市も

- ① 少子化対策
- ② 移住定住対策
- ③ 地域経済活性化
- ④ 持続可能なまちづくり

取組実施

持続可能なまちとしての松山市を目指す

Matsuyama City



※注1 ---- は、国立社会保障・人口問題研究所の推計手法に準拠した推計値（現状ベース）

※注2 — は、以下を見込んだ場合の松山市独自の推計値

①合計特殊出生率が2030年に1.75程度、2040年以降は2.07程度 ②社会増減が2020年以降、均衡以上



松山市は7月に
2020年度の
「SDGs未来都市」および
「自治体SDGsモデル事業」
に選ばれました。

SDGs未来都市選定証

愛媛県松山市

貴市の提案は、我が国におけるSDGs
(持続可能な開発目標)の達成に貢献する優
れたものと認められますので、SDGsの達
成に向けた今後の取組を奨励し、ここに貴市
がSDGs未来都市であることを証します

令和2年7月17日

内閣総理大臣

安倍晋三

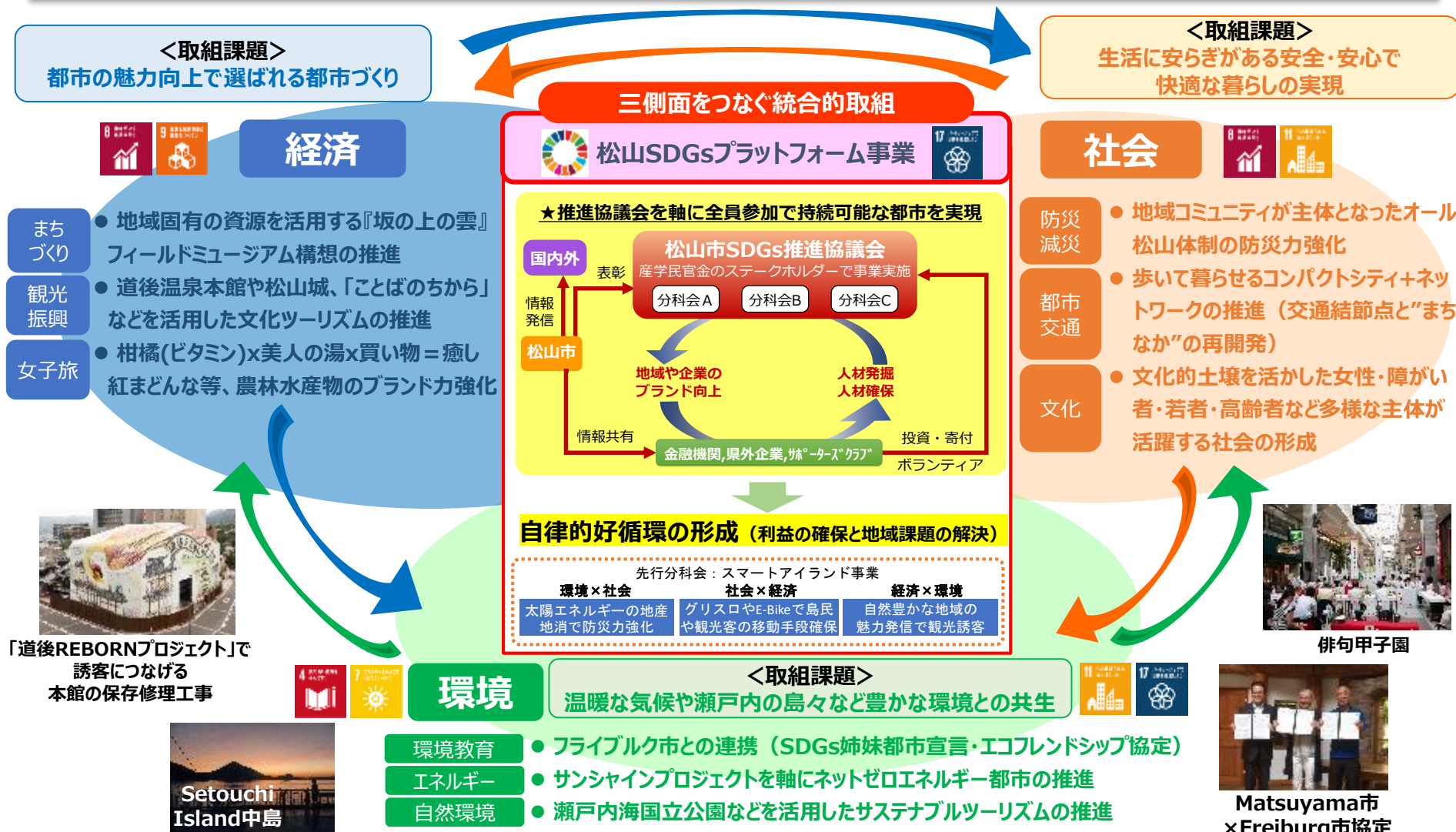




愛媛県松山市

“観光未来都市まつやま”推進事業

「道後温泉・松山城など世界に誇る観光資源」「太陽の恵み豊かな自然環境」「お接待の精神が宿る地域コミュニティ」「多様な主体が活躍できる文化的土壌」など、脈々と受け継がれてきた地域資源を活かした取組を多様なステークホルダーが協働し、**安全で環境にやさしい持続可能な“観光未来都市まつやま”**を目指す。





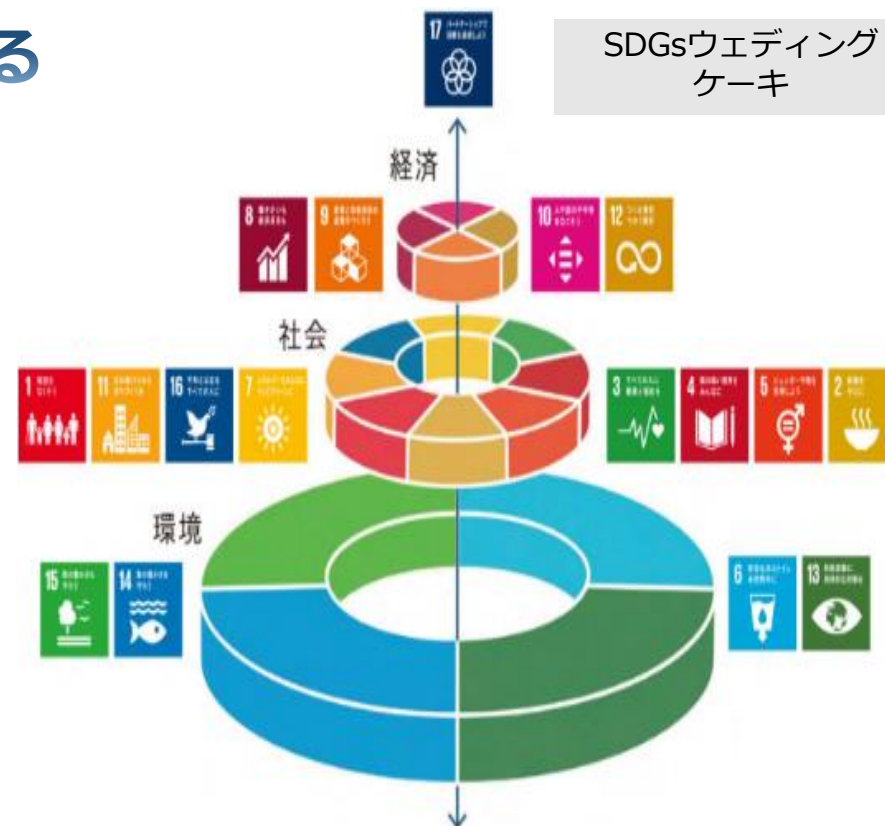
“全員参加で『持続可能な地域』を創る

持続可能な地域とは？

- すべての人が現状に**満足**し**幸福**を感じられる地域
- この満足感と幸福感が、**社会に適応しながら**
今後も続いていくと
確信できる地域

2点が両立

SDGsウェディング
ケーキ



実現に必要なもの

多様な主体がフラットな立場で意見を出し合い、活動でき、パートナーシップを形成できる場

松山市SDGs推進協議会（プラットフォーム）の設立



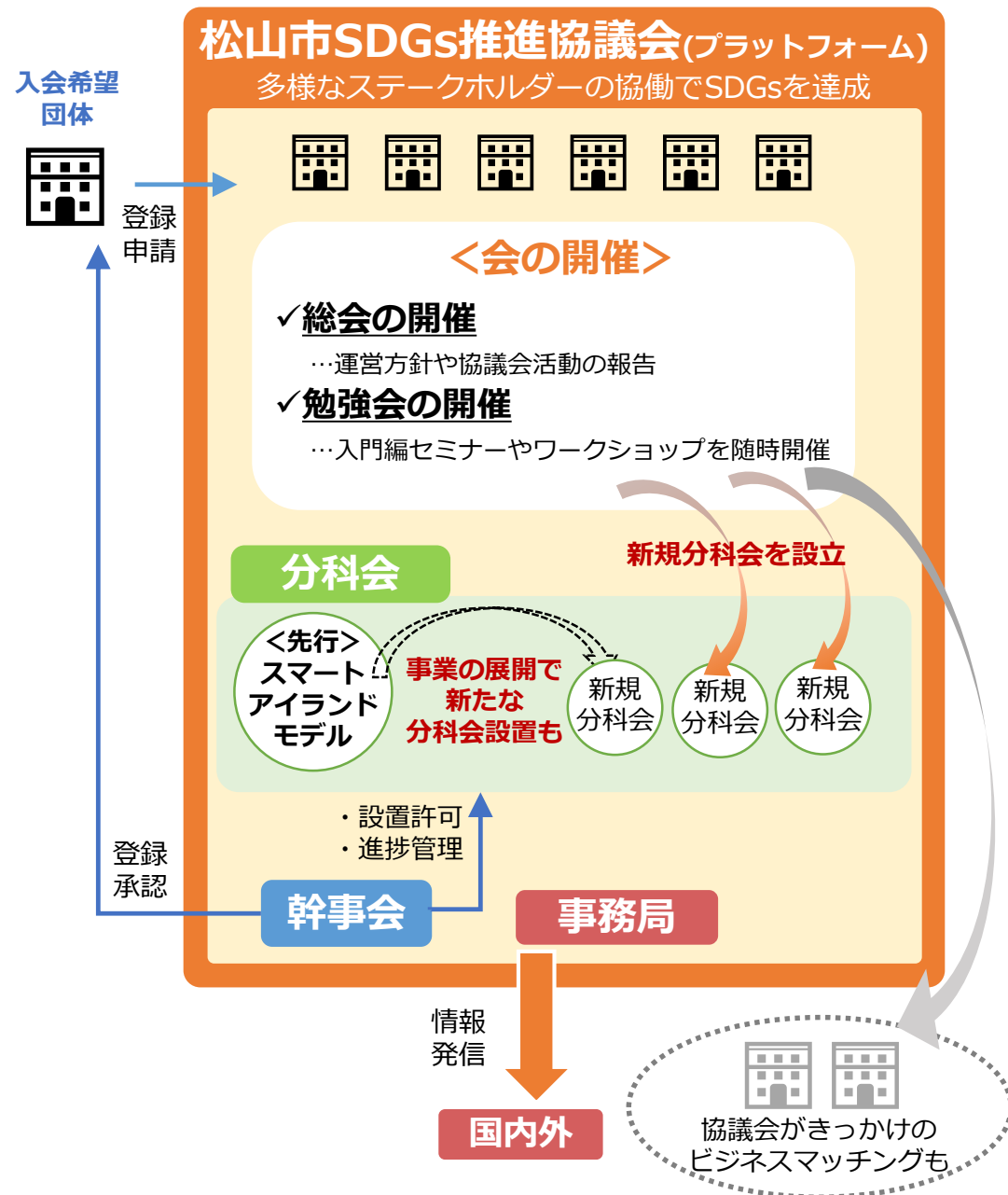
協議会は、産・学・民・官・金の会員団体で構成

協議会の中には、

- ・ 協議会の方針を決定する「**役員会**」
- ・ 協議会の運営を担う「**幹事会**」
- ・ 具体的なプロジェクトを実施する「**分科会**」

市外・県外の
団体も入会可能





①勉強会で情報共有・コミュニティ形成

- セミナーでSDGsに関する知見や動向、地域課題を共有
- ワークショップで地域課題の解決や事業可能性を考察、コミュニティを形成



②分科会で実践

目的を共有する団体に分科会を設置しプロジェクトを実施



③多様な主体でプロジェクトを推進

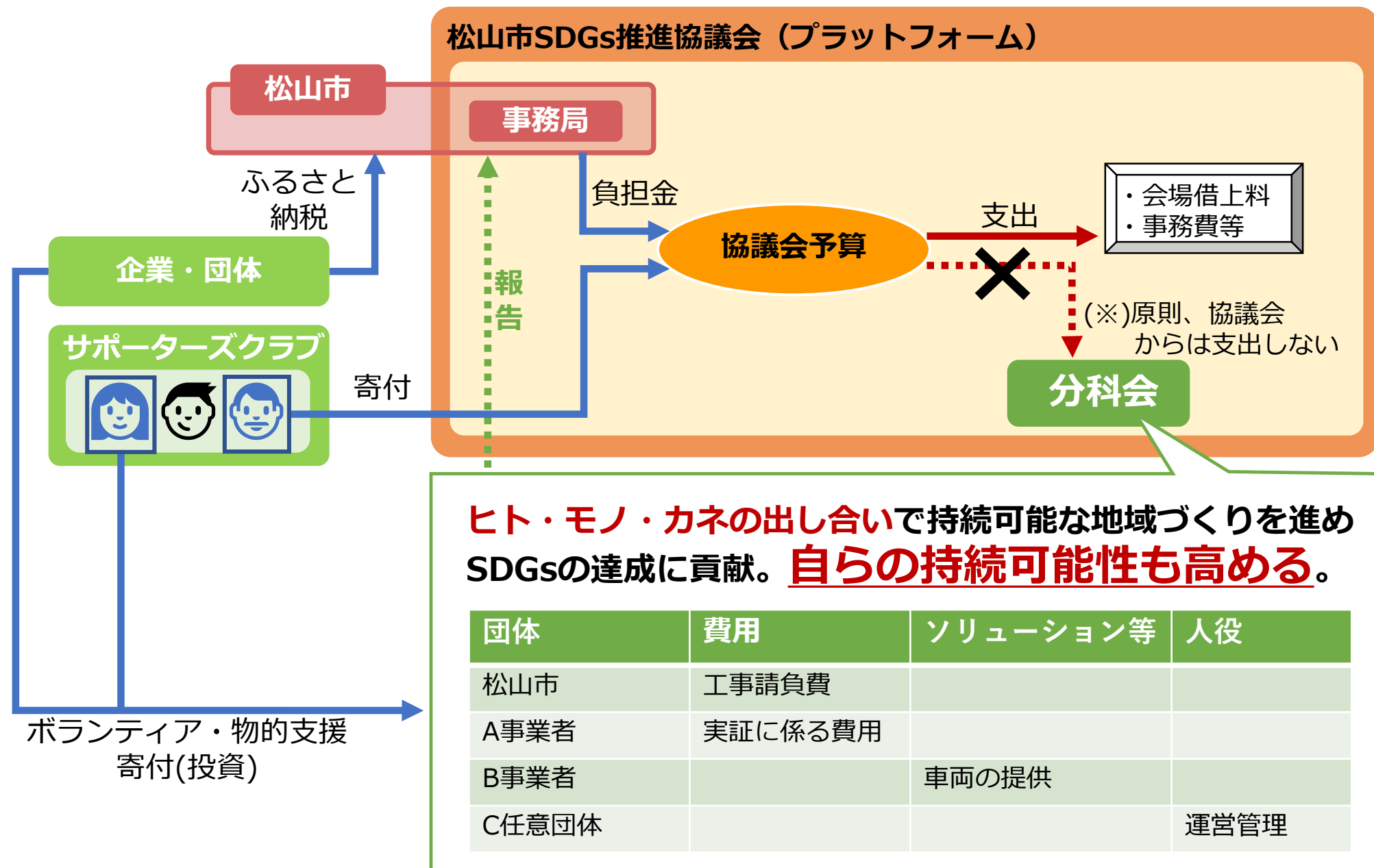
取組を情報共有し、松山市SDGsサポーターズクラブ(個人会員)など多様な主体の関与でプロジェクトを推進

④情報発信

様々な媒体や組織を通じて取組などを国内外へ発信

⑤他地域への横展開

取組を「松山モデル」として他地域へ横展開し社会実装





- 1 太陽エネルギーの地産地消と電動モビリティの活用
- 2 ブランド力向上と中島魅力発信
- 3 市内回遊を促し、観光誘客と滞在時間向上を目指す



分科会に参加いただける団体の知恵やノウハウを加えて効果UP

経済面

島のにぎわい

社会面

快適で安全安心な暮らし

環境面

豊かな自然環境との共生



令和2年7月18日オープン

しまの交流拠点「ほしふるテラス姫ヶ浜」

E-bike

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



グリーン・スロー・モビリティ



瀬戸内海国立公園の島の豊かな海



14 海の豊かさを
守ろう



みかんの島

2 飢餓を
ゼロに



マリンスポーツ



8 働きがいも
経済成長も



投げ釣り体験



4 質の高い教育を
みんなに



フェリーで非日常空間へ 潮騒と家族でゆったりと過ごす時間

11 住み続けられる
まちづくりを



きらめくホタル

15 陸の豊かさも
守ろう



都会でみることのない星空

13 気候変動に
具体的な対策を



中島の場所（ぜひ一度お越しください！）

☆中島までのアクセス

松山ICから港まで
車で20分

港から島まで
フェリーで1時間 or 高速船で25分



ご清聴ありがとうございました

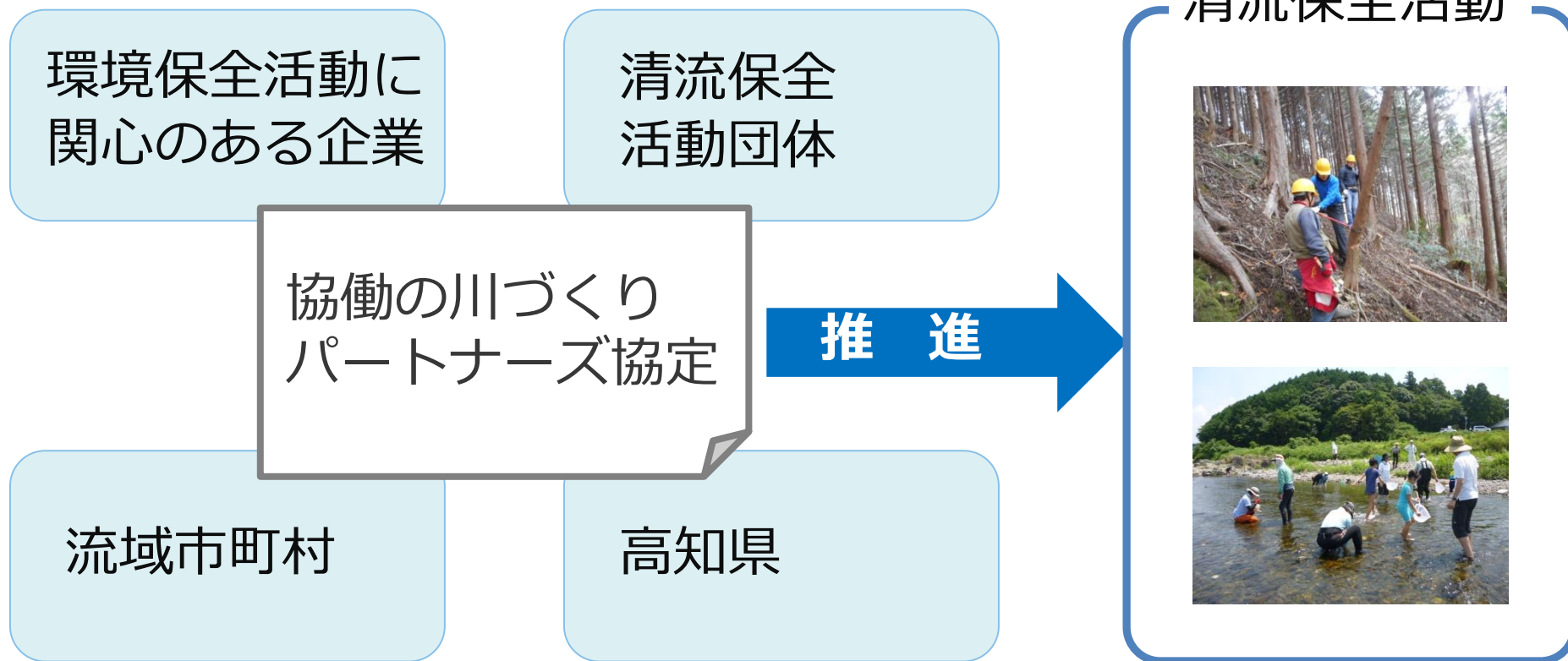


協働の川づくり事業による清流保全活動

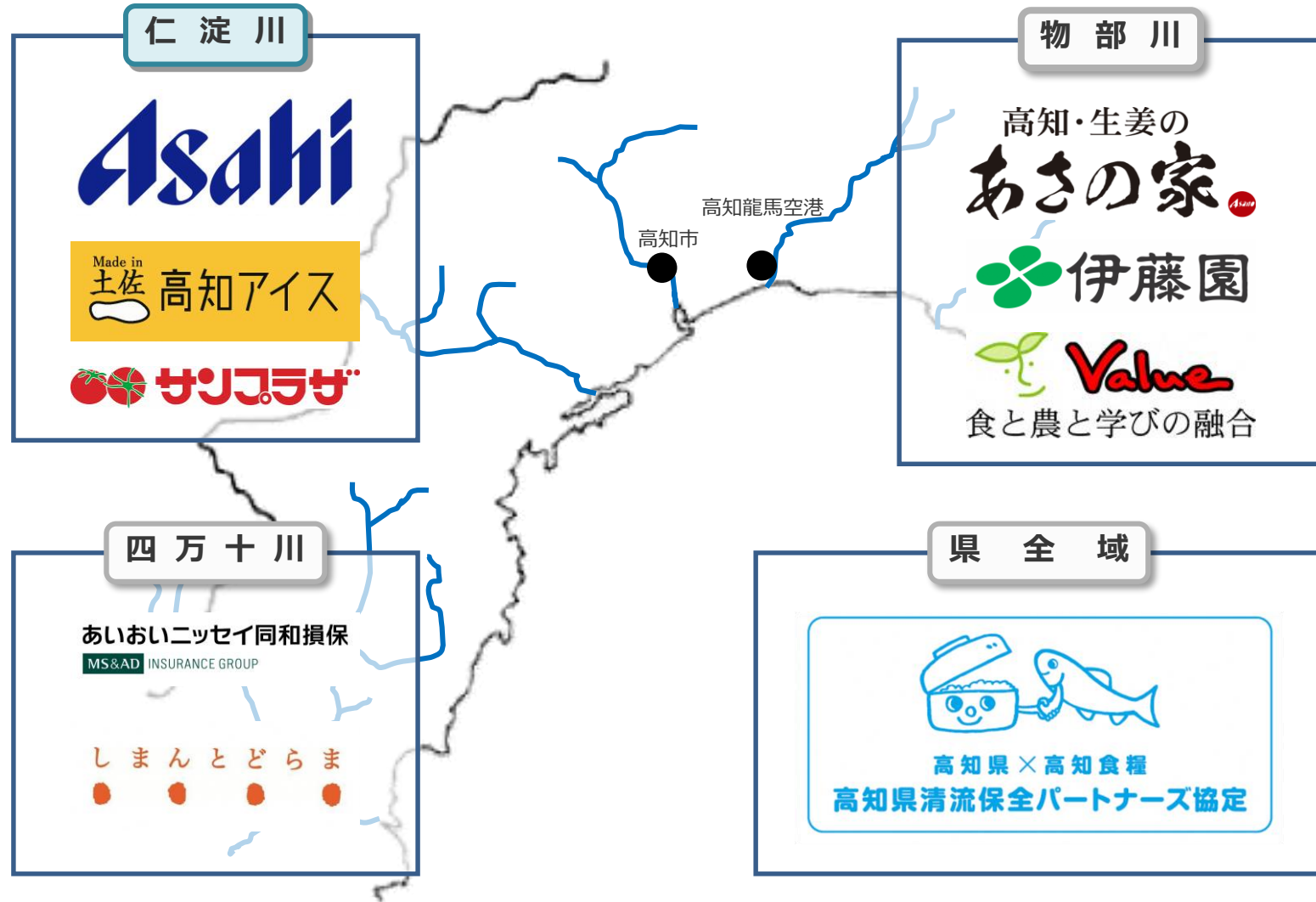
高知県林業振興・環境部環境共生課

協働の川づくり事業とは

豊かな生態系や里山の原風景を残した川 = 高知県の地域資源



協働の川づくりパートナーズ協定締結状況



高知食糧株式会社

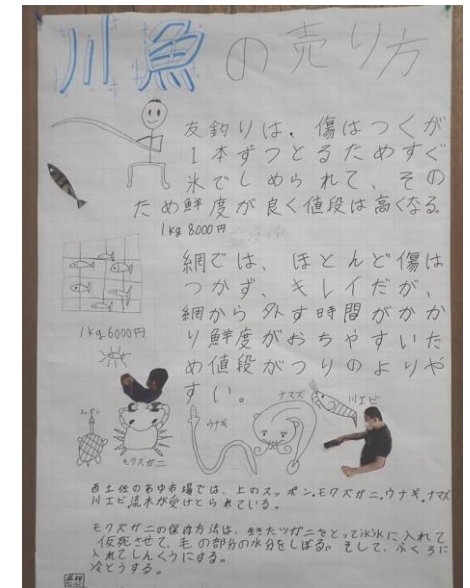
- 無洗米「まんま炊つきー」の売上げの一部（1 kg当たり1円）を活用し、清流保全活動を支援
- 対象は、河川の清掃活動や環境学習、親子が川に親しむイベント等を行う高知県内の団体、NPO法人等
- のべ68団体を支援！（H23～R1）



事例2 モンブランの売上げを活用した中学生との地元学習

株式会社四万十ドラマ

- 四万十町十和にある「shimantoおちゃくり café」で販売されている「しぼりたてモンブラン」の売上の一部（1個当たり約5円）を活用し、地元中学校での四万十川学習を支援
- 四万十川学習は、地域住民を講師に、四万十川と人の生活の関わりについて学ぶ授業。
- 四万十川流域の良さを感じ取り、自分を含めた次世代へ引き継ぐ方法を考え、行動できる子どもたちを増やす。





四国の課題解決 x SDGs推進 ワークショップ実施のご案内

鷺見 英利 / Washimi Hidetoshi

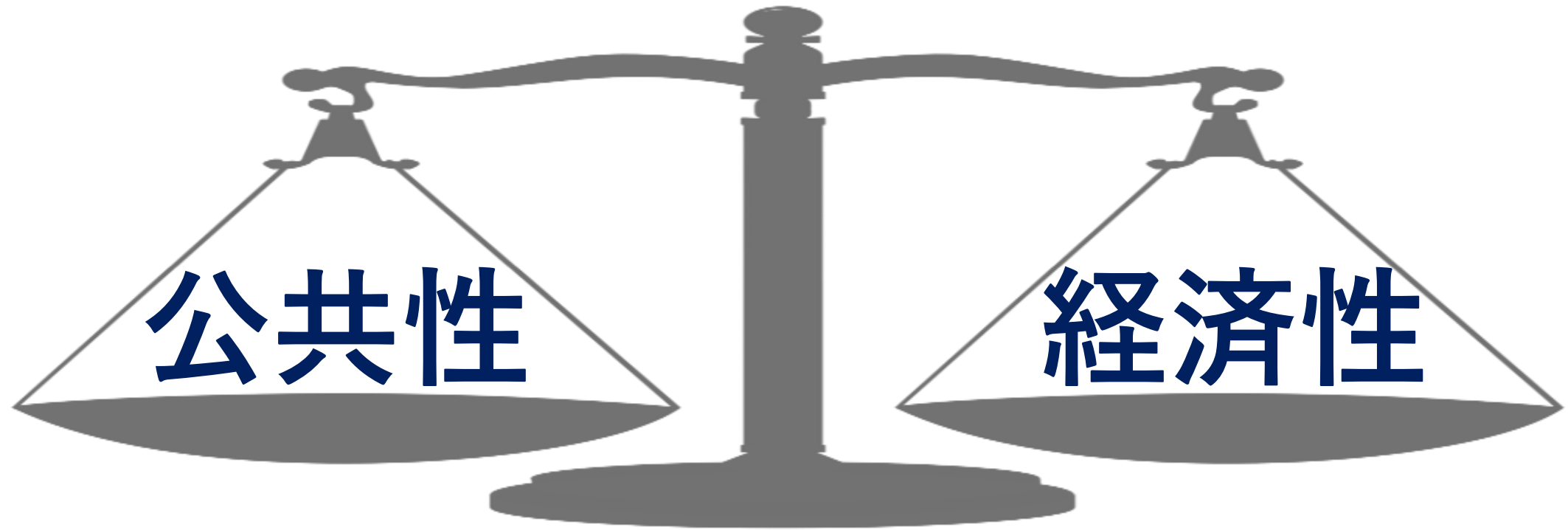
株式会社官民連携事業研究所
代表取締役社長/創業者

2002年ハイアールジャパンホールディングス(株)に社長補佐として入社。青島海爾の日本市場開拓、ブランディング構築に従事。同社退職後、2006年(有)ガリアースを設立し、代表取締役に就任、また同年ジャパンハウジング(株)を設立し、取締役に就任。ハイアール等海外企業の日本参入で得た知見、人脈を活かし複数事業を立上げる。2012年一般社団法人KAI OTSUCHI設立して初代理事長就任、その後プロジェクトが評価され総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞。またママスクエアでも翌年総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞し、2年連続で異なるプロジェクトで評価を受ける。2017年四條畷市特別参与に就任。

【兼任】

四條畷市特別参与、ジャパンハウジング(株)代表取締役
(株)ママスクエア取締役、(有)ガリアース代表取締役





良き前例
創出

官民人材
育成

伴走企業
紹介



通訳者

多数の自治体と連携・共創促進

北海道
北海道庁
札幌市

岩手県
盛岡市

宮城県
仙台市
白石市

茨城県
水戸市
行方市

埼玉県
戸田市
和光市
横瀬町
小鹿野町

千葉県
千葉市

神奈川県
神奈川県
横浜市
川崎市
鎌倉市

富山県
南砺市

山梨県
◆ 大月市

愛知県
岡崎市

三重県
松阪市
朝日町

京都府
京都府
与謝野町

兵庫県
◆ 三木市
神戸市
南あわじ市

島根県
松江市

山口県
下関市
山口県

奈良県
◆ 三宅町
◆ 斑鳩町

和歌山県
和歌山市
有田市
白浜町

大阪府
泉大津市
寝屋川市
枚方市
泉佐野市
◆ 柏原市
◆ 四條畷市
◆ 東大阪市

徳島県
徳島市
鳴門市
阿南市

高知県
高知県
◆ 宿毛市
◆ 四万十町

佐賀県
小城市

熊本県
熊本市
宇城市

宮崎県
◆ 延岡市
都城市

福岡県
福岡県
福岡市
北九州市

沖縄県
石垣市

愛媛県
大洲市
松野町



◆：連携協定締結

訪問した自治体は延べ300以上
事業化した事例は**150**以上

※代表篤見の個人実績含む。

— 連携協定先の自治体



大阪府
四條畷市



大阪府
柏原市



奈良県
三宅町



高知県
宿毛市



奈良県
斑鳩町



兵庫県
三木市



山梨県
大月市



宮崎県
延岡市



高知県
四万十町



大阪府
東大阪市



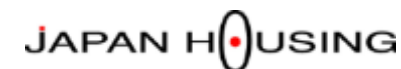
香川県
東かがわ市



大阪府
岬町



Inagora



共創事例（平等寺（徳島県阿南市）x観光政策）

四国遍路へ新たにシェアサイクルを配備。～世界遺産登録を後押しするため、遍路保全と魅力発信を強化～

2020年2月20日より、四国霊場第二十二番札所白水山平等寺（徳島県阿南市、以下平等寺）と、シェアサイクルサービス「PiPPA」を展開する株式会社オーシャンブルースマート（東京都板橋区、以下オーシャンブルースマート）とは、阿南市内や小松島市内の四国遍路各所へのシェアサイクル整備事業を開始しました。四国遍路をより柔軟・自由な手段で巡拝できる環境整備だけでなく、シェアサイクル利用料の一部が四国遍路の保全活動に寄附される仕組みも導入します。

さらに、世界遺産登録の重要な鍵となる受入体制整備、札所や遍路の保全、文化的価値発信の観点から、データ分析・提供ではNECソリューションイノベータ株式会社（東京都江東区、以下NECソリューションイノベータ）、魅力発信では世界中に約360万人のフォロワーを持つ「Japan OLD」運営の株式会社DMoX（大阪府中央区）との協働などにより、四国遍路の世界遺産登録への強い後押しとなることを目指します。



テープカットの様子（左から、オーシャンブルースマート 代表取締役 小竹海渡、別格本山立江寺 副住職 庄野晃隆、白水山平等寺 住職 谷口真梁、阿南市長 表原立磨、NECソリューションイノベータ イノベーション戦略本部長 重松宏幸）



3者による連携協力の取り組み



四国霊場第二十二番札所
白水山平等寺

- シェアサイクル専用ポートの拡充
- 札所、遍路周辺施設、地元企業、自治体との連携



- 自転車とシステムの提供、運営
- 利用料の一部を、遍路保全事業へ寄附

NEC

NECソリューションイノベータ

- 四国遍路の移動データ分析の結果を周辺自治体へ提供



- 世界中約360万人 Facebook登録者へ、魅力や自転車遍路体験を配信

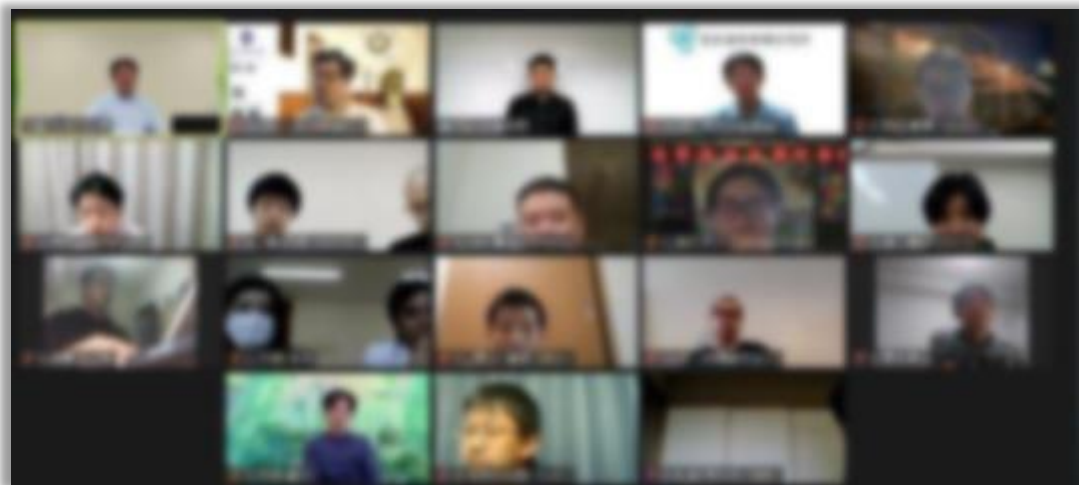
四国遍路の
自由な移動手段・受入態勢整備・文化的価値の発信

地域や組織を超えた連携

- ・ 自治体 × 企業 × 地元（お寺・地元企業）
- ・ PiPPA × NEC × JAPAN OLD 民民連携
- ・ 地域資源の最大限活用化

四万十町が抱える課題を行政職員と民間のエース (大企業・スタートアップ社員) とともに深掘りし、解決案を町長・副町長・教育長へ政策プレゼン実施

▼最終発表時の様子 (オンライン)



▼課題とりまとめ

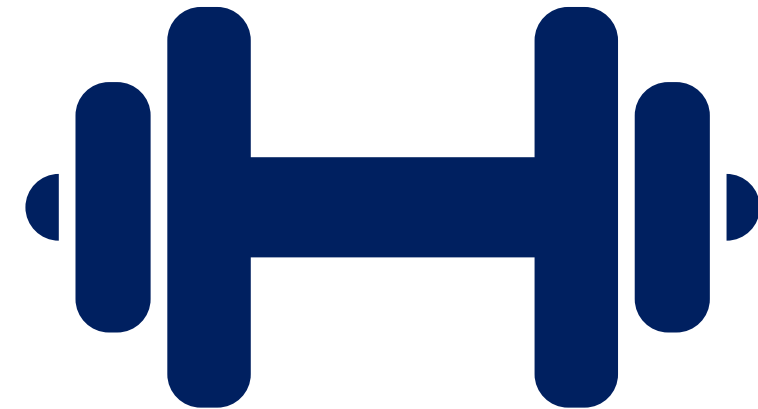
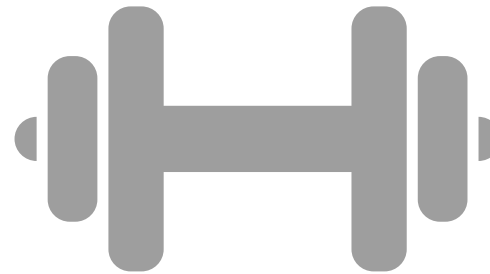
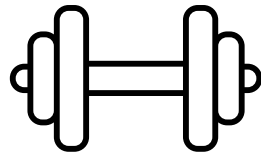
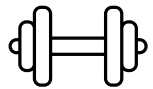


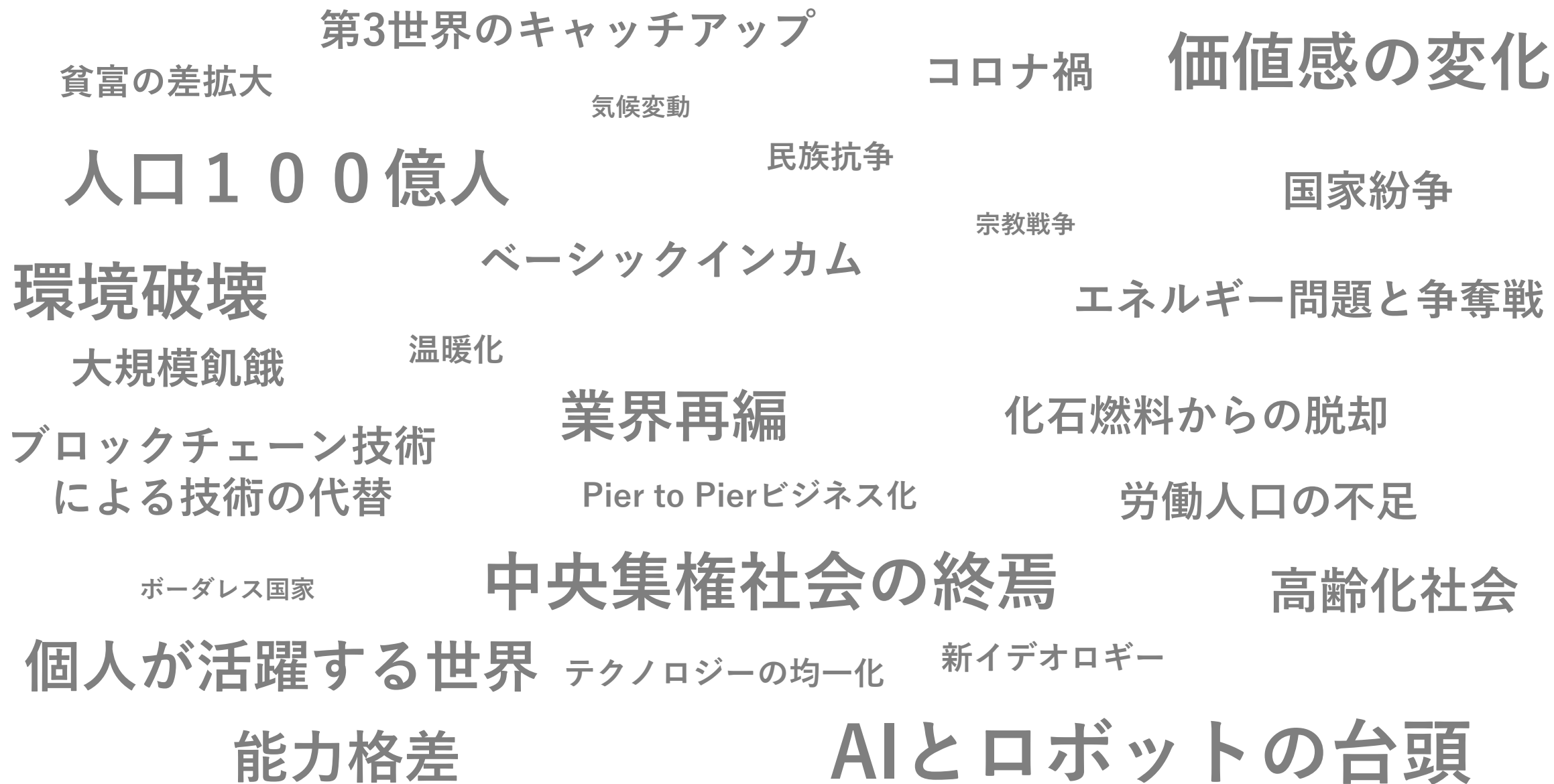
課題解決型：行政職員×民間エース

- ・ 職員×企業×地元
- ・ フィールドワーク実施による課題深掘り
- ・ 政策実現へ向けた共創

筋トレ

だんだんと筋力をつけていく





— 今後の世界と流れへの対応



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

(①貧困)



(②飢餓)



(③保健)



(④教育)



(⑤ジェンダー)



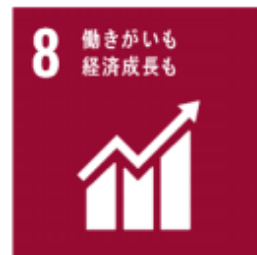
(⑥水・衛生)



(⑦エネルギー)



(⑧成長・雇用)



(⑨イノベーション)



(⑩不平等)



(⑪都市)



(⑫生産・消費)



(⑬気候変動)



(⑭海洋資源)



(⑮陸上資源)



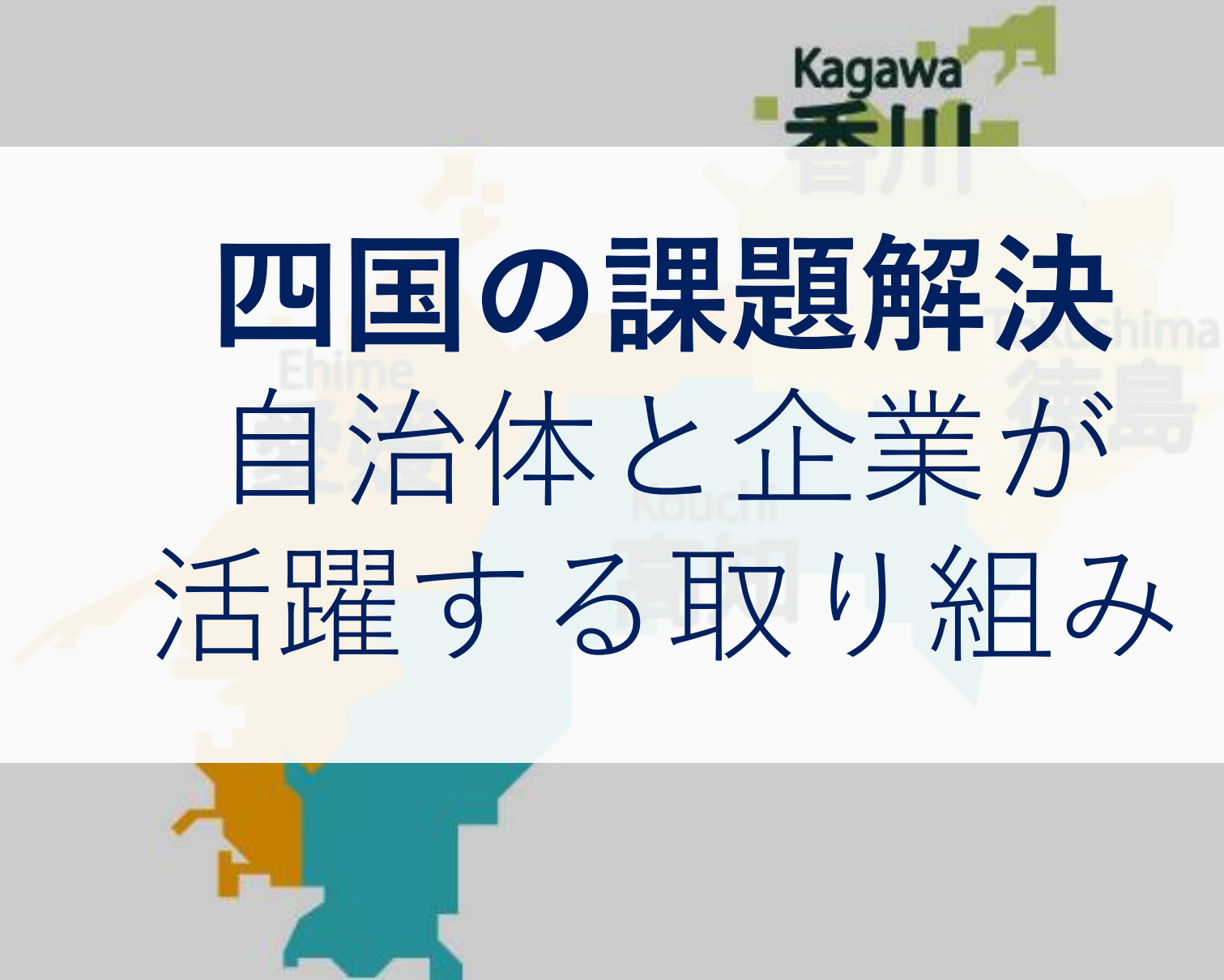
(⑯平和)



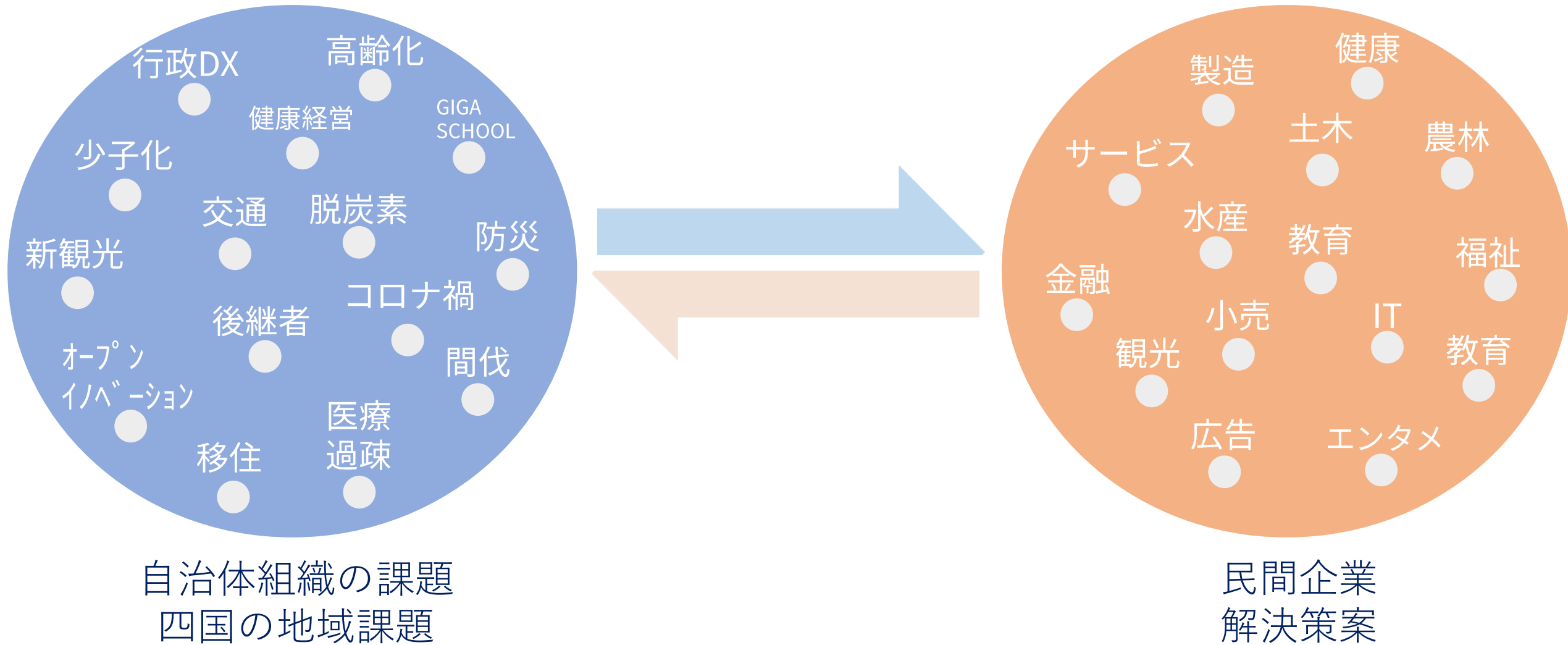
(⑰実施手段)



ローカルSDGs四国と 連携した取り組み



四国の課題解決 自治体と企業が 活躍する取り組み



Step 1

課題の深掘り

Step 2

官民マッチング

Step 3

伴走

Step 1

まずは、
ここから
スタート

課題の深掘り

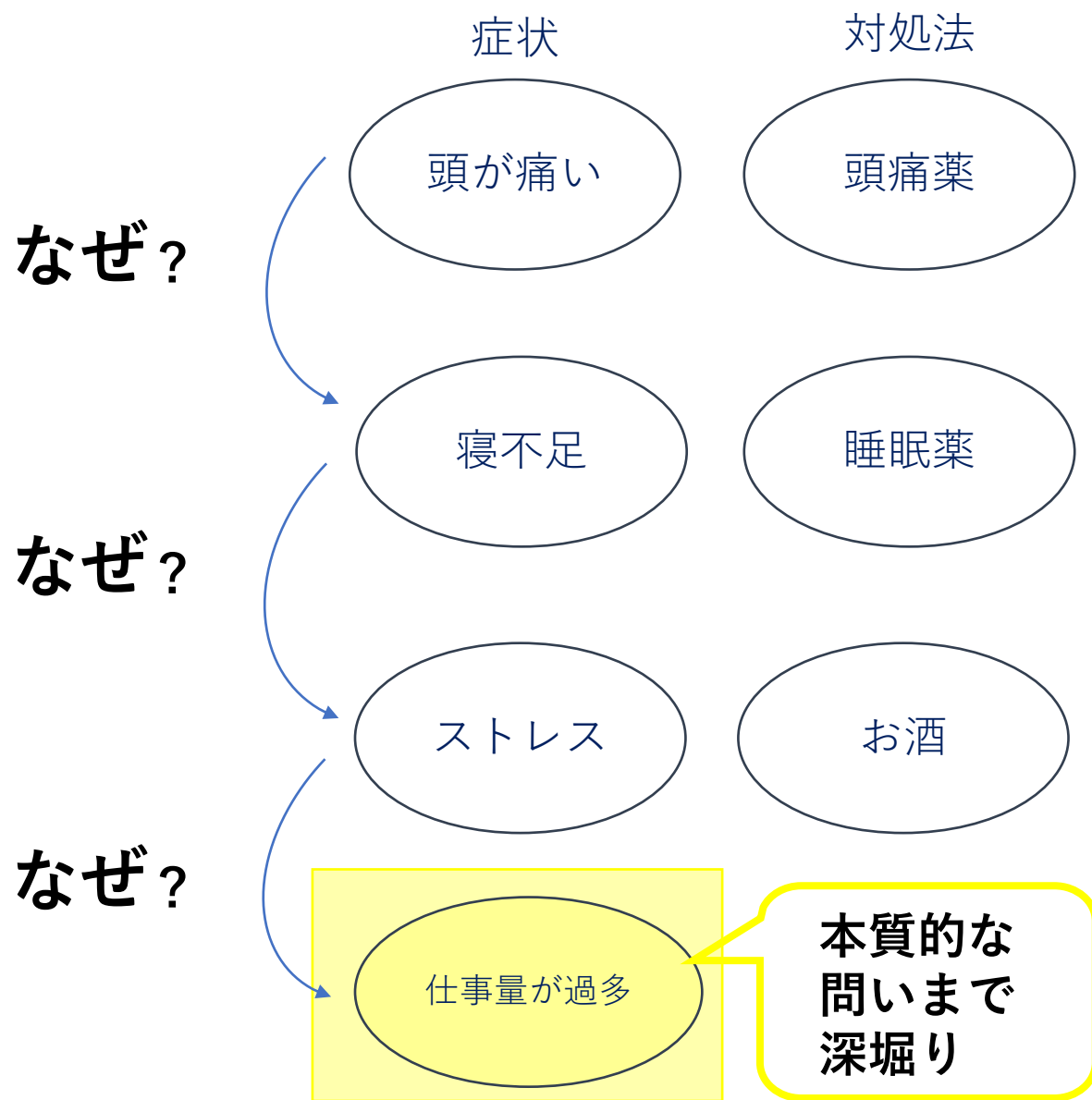
Step 2

官民マッチング

Step 3

伴走

「問い」が浅いと回答がズレる



■ 自治体が捉えている「問題」

- ワークショップ
- ・ 本質的な課題は何か、隠れた問いを明らかに
 - ・ 課題を深掘りする
 - 「なぜ？」
 - 「本当に？」
 - 「誰が？」

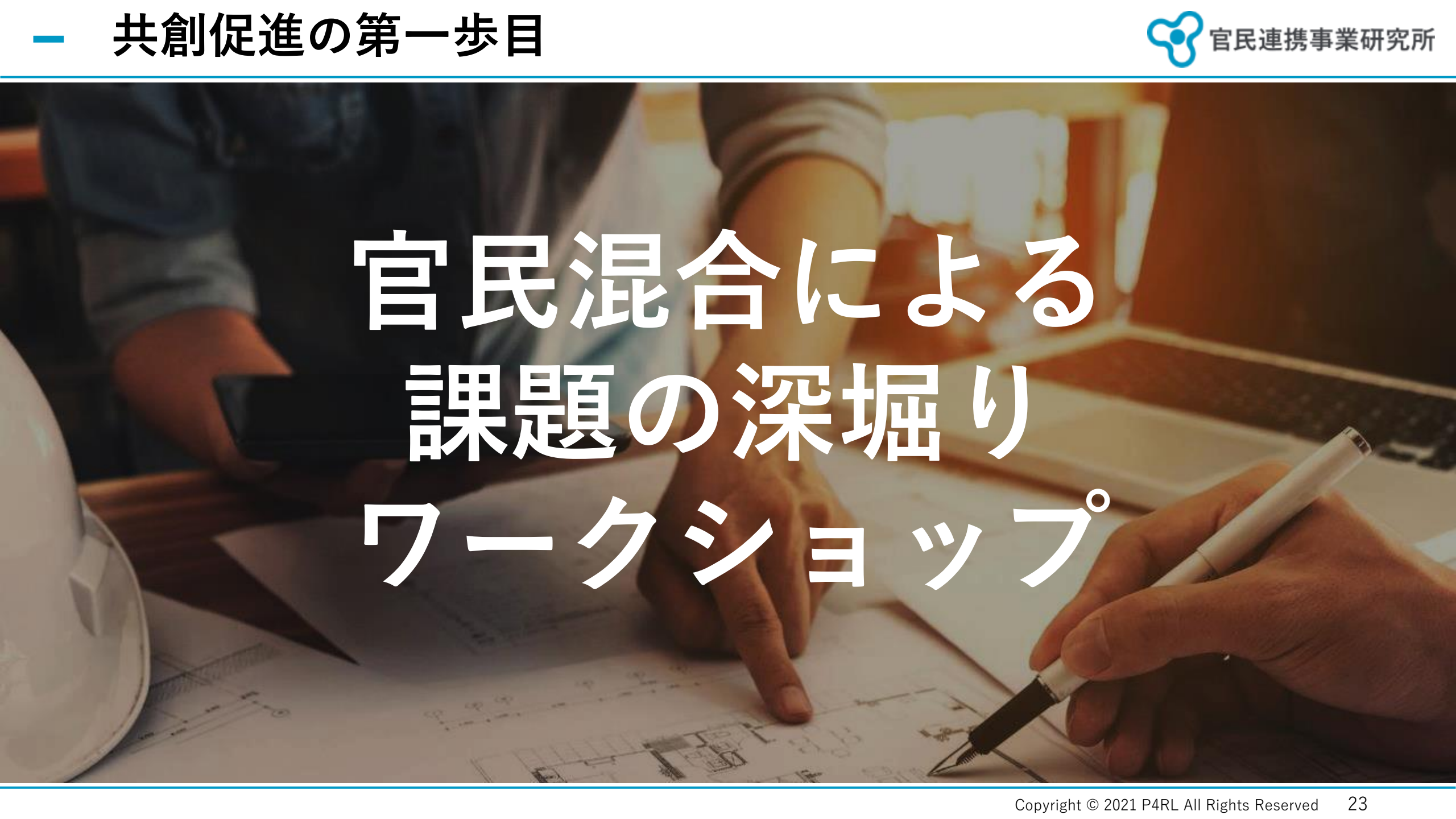
重要なことは、正しい答えを見つけることではない。
正しい問いを探すことである。

間違った問いに対する正しい
答えほど、危険とはいえない
までも役に立たないものはない。

P.F.ドラッカー







官民混合による 課題の深掘り ワークショップ



課題提案の自治体



民間企業等

民間企業・大学・金融機関・NPOなど

- 自身の課題を深掘り整理
- 質の高い民間とのマッチング
- 「善き前例」の創出
- 自治体が抱える課題を把握
- 新規事業、R&DやCSVのタネの発見
- タネの実証実験協力先を発見
- ■ 越境研修として職員・社員育成として活用できる。
 - ・ 自組織以外の様々な背景を持った人たちと話し合い、学びと気づきにつながる
 - ・ 課題を深掘りするために必要な視点を得られる
 - ・ 課題の深掘りの手法を体感できる

1か月

声かけ

- ・ LS四国※1へ登録した自治体と企業へ周知
- ・ 発表者募集
- ・ 参加者募集

2か月

ワークショップ

- ・ 3～5自治体の担当者が課題発表
- ・ 参加者は産官学など30名/回程度を想定
- ・ 課題保持自治体職員以外も参加可能
- ・ 専門分野外でも企業の参加可能

3か月

自治体課題 フォローアップ

- ・ 発表した自治体担当に改めてヒアリング
- ・ 自治体の深掘りした課題に対応できる共創企業を紹介

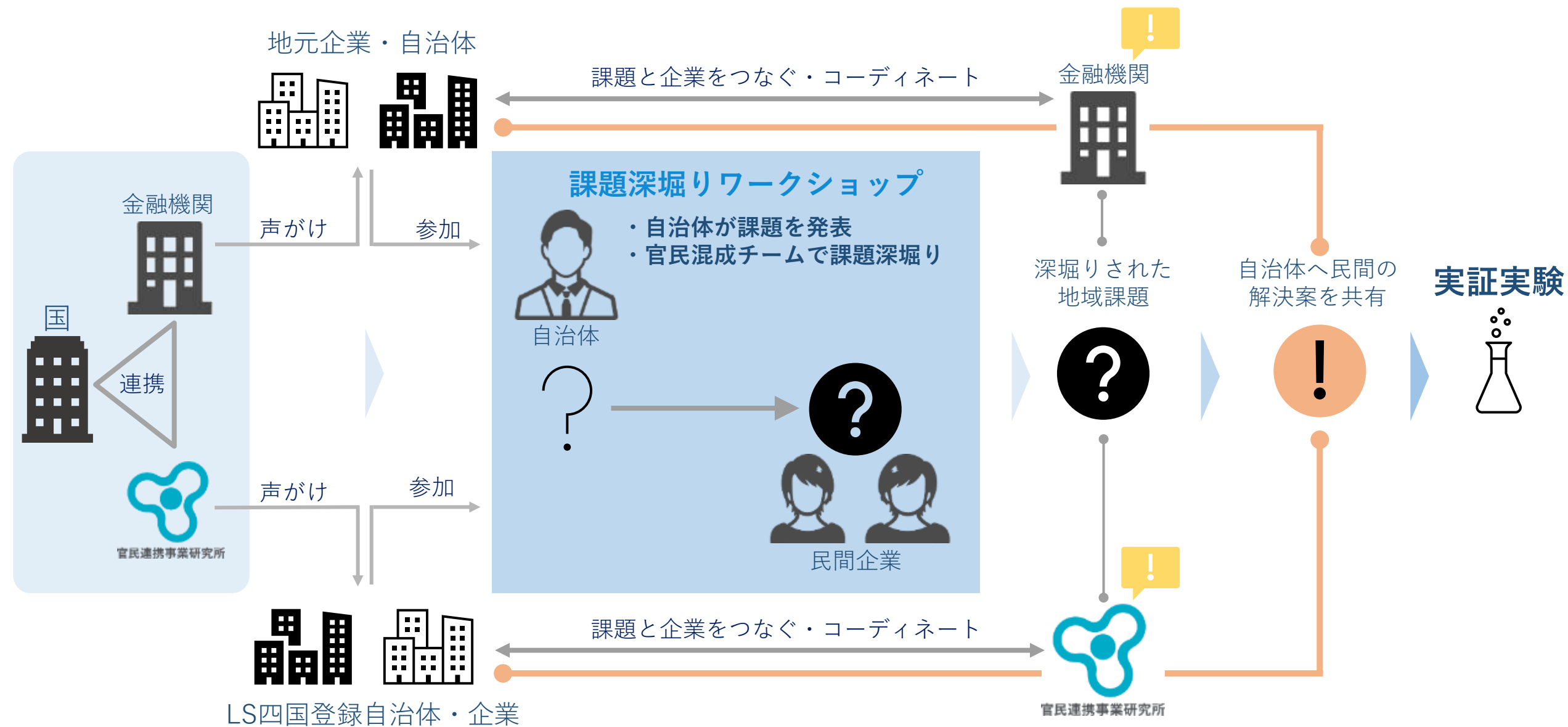
4か月

マッチング

- ・ LS四国、金融機関、プラットフォーム等に自治体課題を共有
- ・ 興味を持った企業は自治体へ共創提案※2

※1 LS四国 : ローカルSDGs四国
※2 共創提案 : 随意契約や入札事業を
確約するものではない

課題解決に向けた共創の全体図



- ✓ 社会課題を解決したい自治体の方
- ✓ CSVに取り組みたい民間企業の方



**ローカルSDGs四国
ご登録ください**

(株)官民連携事業研究所

<https://p4rl.com/>

support@p4rl.com



ともに四国を盛り上げていきましょう！